

## 城西大学水田記念図書館主催 講演会

### 「出版営業の醍醐味 – 好きなものを売る仕事」

日時：2021年11月24日（水）13:50～15:10

会場：オンライン（Zoom）

内容：出版業界の現状と業務についての講演

講師：河内 秀憲 氏（筑摩書房 営業部次長）

参加者数：116名 アンケート回答者：46名（回収率 =39.6%）

現代政策学部「現代社会と法（国際法を含む）」との連携で実施

#### 回答者数内訳

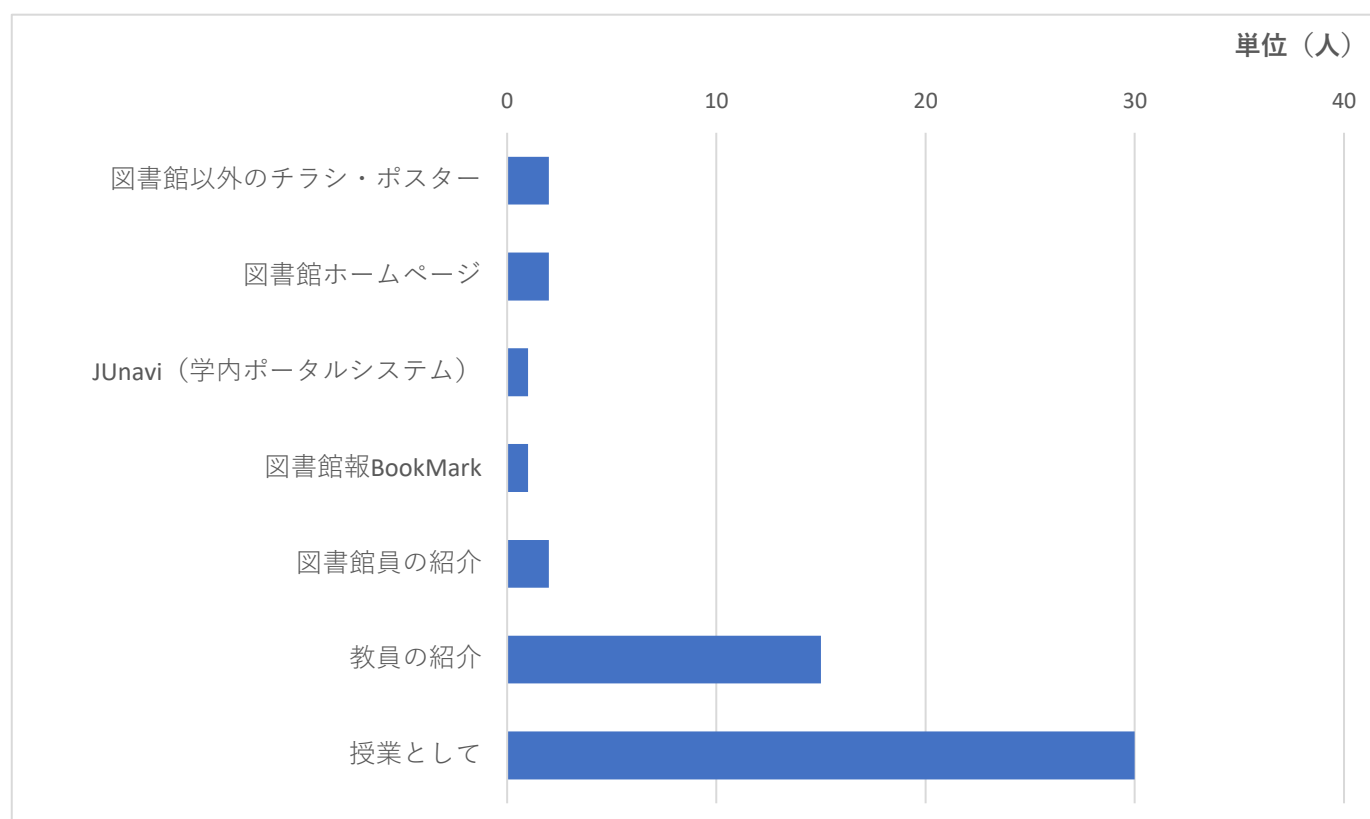
単位（人）

	1年	2年	4年	6年	教職員	合計
経済学部経済学科	4	3	1	0	0	8
現代政策学部社会経済システム学科	22	2	9	1	1	35
薬学部薬学科	0	0	1	0	0	1
薬学部医療栄養学科	0	0	0	0	1	1
数理・データサイエンスセンター	0	0	0	0	1	1
<b>合計</b>	<b>26</b>	<b>5</b>	<b>11</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>46</b>

# 1) 今回の講演会を何で知りましたか？（複数回答可）

単位（人）

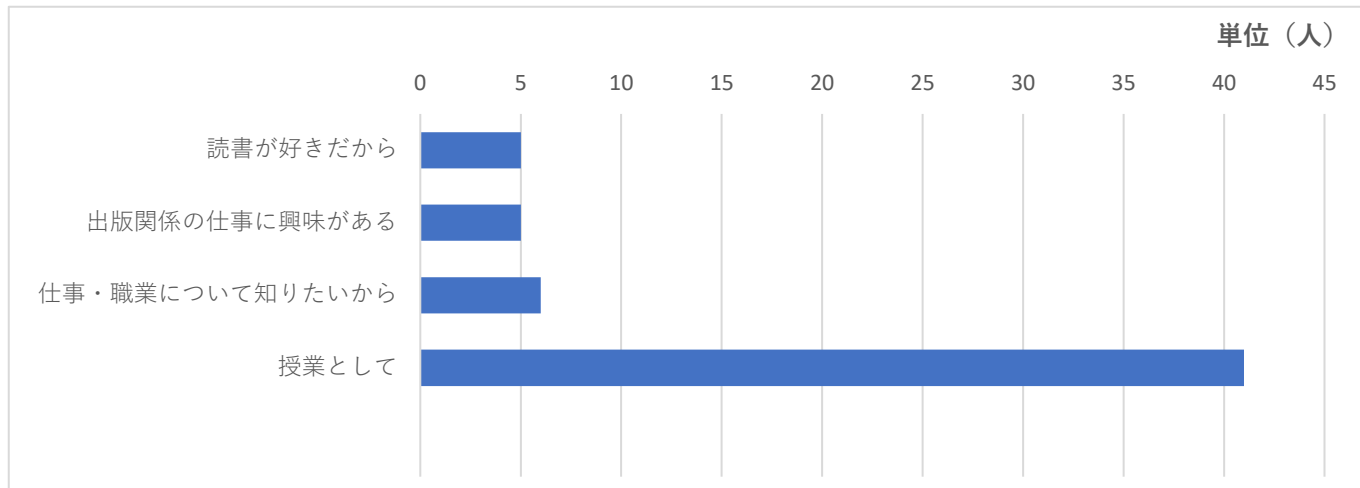
図書館以外のチラシ・ポスター	2
図書館ホームページ	2
JUnavi（学内ポータルシステム）	1
図書館報BookMark	1
図書館員の紹介	2
教員の紹介	15
授業として	30



## 2) 今回の講演会に参加した理由は何ですか？（複数回答可）

単位（人）

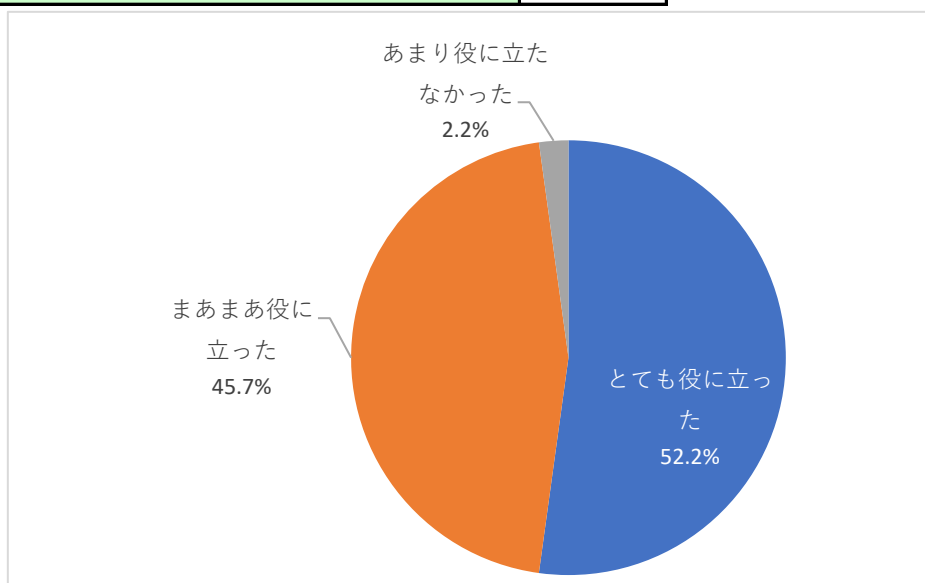
読書が好きだから	5
出版関係の仕事に興味がある	5
仕事・職業について知りたいから	6
授業として	41



## 3) 今回の講演会は役に立ちましたか？

単位（人）

とても役に立った	24
まあまあ役に立った	21
あまり役に立たなかった	1
未回答	0
合計	46



#### 4) 「役に立った」「まあまあ役に立った」を選んだ理由をお聞かせください。

とても役に立った理由
出版とはどういうことをする仕事なのか分かったから。(5件)
1年で就職のこと徐々に意識し始めていたので業界の話を聞けて良かったです。
あまり読書をするのがなくて書店に行くことが少なかったが、これを機に書店に行ってみようと思ったから。
なんとなくしか知らなかった業界を、企業説明会の様な感覚で理解することが出来た。
興味のある内容だった。
再販制度や委託制度など、出版特有の話を知ることができましたし、論語とそろばんの売れ行きの話は非常に興味深かったからです。関先生の簡単なコメントも分かりやすかったです。
私はコンビニでバイトをしており、その仕事として本の返品をすることがあり、何故本は廃棄ではなく返品なのか気になっていたから。
自分の知らない分野のことを知る貴重な機会になったから。
社会とは密接につながっているなと感じました。一つの本を販売するにあたって、たくさんの方が何度も会議や確認を重ねて出来ているのだと思いました。大谷選手や栗山監督が読んでいますと発言したことで、どんどん増版していく様を見て、本はいろんな引き出しから知られていくことが面白いと改めて気づきました。自分は電子書籍よりも実際の本として読む方が好きなのでこれからもいろんなジャンルを読みたいです。
就職とは違う業界だけど、市場がどうなっているのかなどがわかったから。
就職について考えることが増え、様々な仕事の情報が欲しいと思っていたので、出版関係の仕事のお話を聞かせていただくことができ、大変ありがたかったです。
出版業界に関することや流通、制度、営業の仕事内容など新しい世界を見ることができ良かったです。物販のなかでも出版業界はかなり特殊だということがわかりました。
出版社で働く営業マンの仕事内容が知れたから。
出版社に関しては全然分からなかったのですが、今回参加して本のデジタル化が進んでいることがわかりました。
出版社業界の仕事内容や本が出版されるまでの過程でどのようなことをしているのかなど、この業界について知らないことなどが知れたので、自分自身とても為になりました。
図書や本など知らないことがたくさんあったので今回の話がとても役に立ちました。
普段、出版関連の職業に関しては知るような機会はなく、今回初めて知って多くの関係者が出版に携わっており、そのシステムに関してもほかの職業と類似しているものもあり、新しい知識として役立ったと思ったから。
本が世に出回る過程や紙の本と電子書籍の売れ行きなど興味深い話を聞くことができ面白かったです！
本一冊が出るためにはいろいろな契約方法などたくさんの方が関わりたくさんの手順を踏んで出てることがわかった。これから少しずつ本を読みたいと思った。

**まあまあ役に立った理由**

出版業界について詳しく知ることができた。(9件)

本についてあまり知らなかったのでいろいろな知識を得ることができたから。(3件)

学部特有のこともあり、薬学部ではあまり本について知る機会はないので役立った。  
薬の販売の流れと似た部分もあると思うので探してみたいと思う。

出版業界について、そこまで理解できていなかったので、出版社の数や取次販売会社の数を具体的に知ることができたからです。

絶版になったものをまた売り出す際の過程について聞いたのは良かった。

電子書籍でも読むことはあるが、やはり紙媒体の方が没頭できるので、紙媒体が無くならないことがわかって良かった。

電子書籍の本を購入したり読んだことはありませんでしたが、2020年にまでに着々と電子書籍を利用している人の割合が増えていきました。それは電子コミックによるものということがわかり電子書籍を購入してみようと思えたからです。

本がどのような経路で書店までたどり着くのかの仕組みが分かったことや影響力のある人が紹介するとその本が売れるという事が分かったから。

滅多に聞くことのできない出版に関する話を聞いたため。

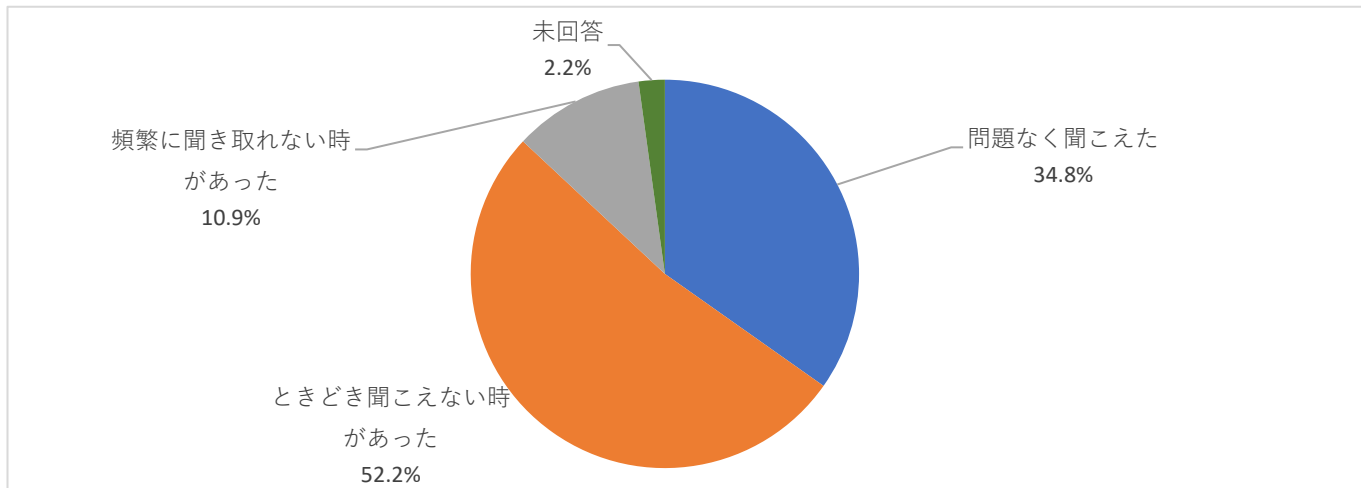
**「あまり役に立たなかった」を選んだ方は、理由があればお書きください。**

回答なし

### 5) オンラインでの音声は聞き取りやすかったですか？

単位 (人)

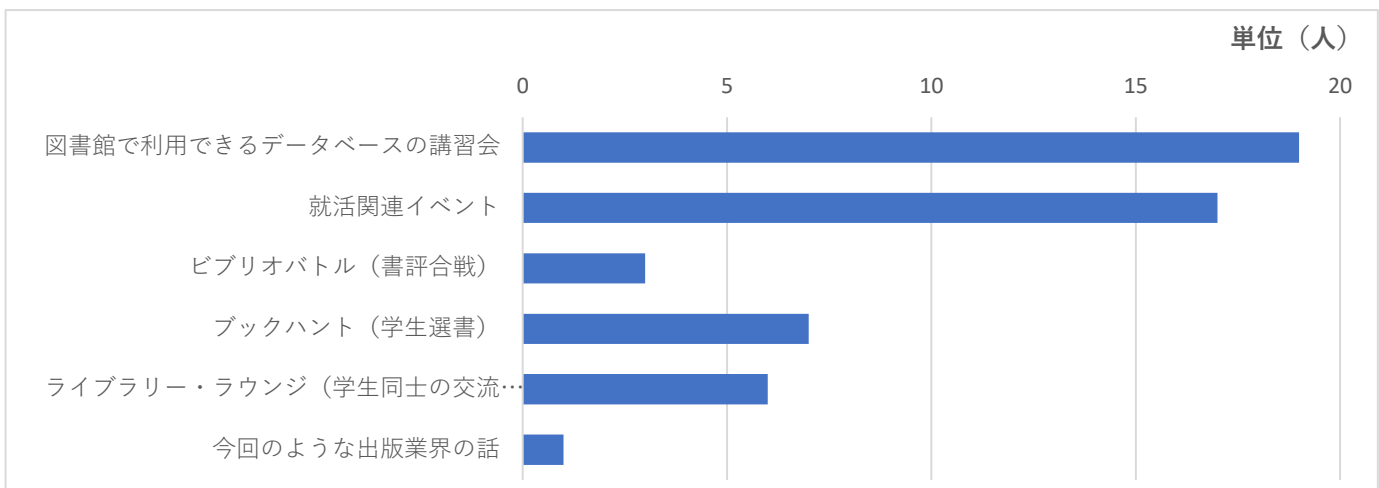
問題なく聞こえた	16
ときどき聞こえない時があった	24
頻繁に聞き取れない時があった	5
まったく聞き取れなかった	0
未回答	1
合計	46



### 6) 今後、図書館のどのような企画に参加してみたいですか？ (複数回答可)

単位 (人)

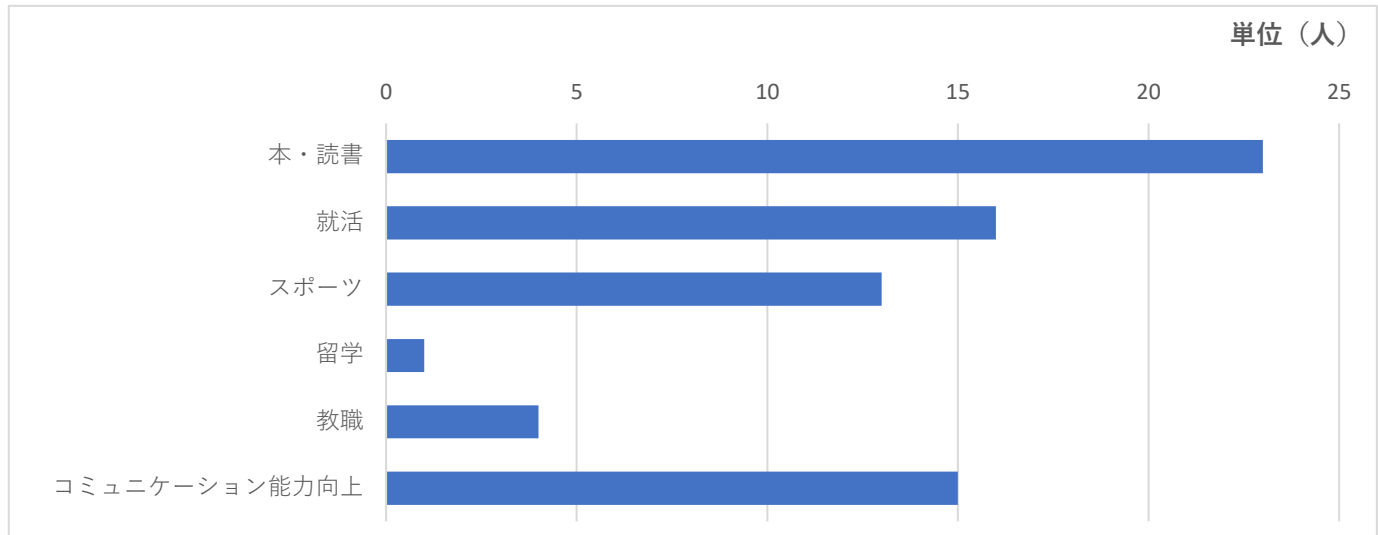
図書館で利用できるデータベースの講習会	19
就活関連イベント	17
ビブリオバトル (書評合戦)	3
ブックハント (学生選書)	7
ライブラリー・ラウンジ (学生同士の交流を目的とした座談会)	6
今回のような出版業界の話	1



7) 参加してみたい講演会のテーマを教えてください。(複数回答可)

単位 (人)

本・読書	23
就活	16
スポーツ	13
留学	1
教職	4
コミュニケーション能力向上	15



8) 今回の講演に関して、ご意見・ご感想をお書きください。

とてもためになる授業でした。(4件)
普段聞けないようなお話が聞けてとても良い経験が出来ました。(3件)
一冊の本を出版するのに様々な人が関わっていることを知ることができた。(2件)
1つの業界の話を詳しく聞けてすごくよかったです。
とてもよかったです。就職先でも活かせるように、いろんな講演会に出たいと思った。環境問題の講演会を開催してもらいたい。
とても聴きやすくわかりやすかったです。
とても面白い講演会でした。また参加してみたいです。
なかなか聞けない珍しいお話だったので、授業ではあったが参加できて良かった。改めて読書は自分のためになる大事なことだと感じたので、これから最低1ヶ月に1冊は読もうと思った。
回線に不備があったように思える。
関先生が最後に話した校閲の人の仕事にも興味があります。そのほか、新聞社の人の話も聞いてみたいです。
現場で働いている方の貴重なお話が聞けて、とても有意義な時間になりました。出版業界も色々な関わり方でつながっていることを知り、この業界もさらに興味を引かれました。
今回この講演に参加をして感じた事は、実際に出版社で働いてる人からZoomを通して本の現在の売上などの資料の説明を現在の状況を交えながら説明を聞いた事がとても貴重な体験だったと感じた。

今回の講演では、自分の知らない業界の仕事内容や本が店頭で販売されるまで、どのような過程で本が作られているのかなどが分かったので良かったです。

今回の講演に関して、出版社とはどのようにして回っているのかについて詳しく知ることができ、どういったことをしているのかについても知ることができました。将来、どのような職に就職するのか今はわかりませんが、参考になりました。

今回の講演を通じて、雑誌の売上げが落ちていることに驚いたのですが、デジタル化が進み売上げも戻ってきたと知ったので安心しました。しかし私的にはやはり本は紙の方が好きなので、今後も頑張っしてほしいなと思いました。本日はありがとうございました。

手元に届くまでの流れなどを聞いて良かったです。ありがとうございました。

授業としてこの講演を受けましたが、出版社について興味が湧きました。これから就活をしていく上で参考にしようと思いました。

就職について思い悩んでいる時期に、こういった講演を開催していただくことができ、大変参考になりました。

出版業界の様々な情報を聞くことができ良かったです。

出版社というあまり馴染みのないような業界のことがわかり本を出すためには出版社だけでなく大勢の人の力が関わっているんだと話を聞いていて感じた。

出版社のことを詳しくわかって将来の就職活動で使える講演だったと思います。あと個人的なことは質問がギリギリ間に合わなかったのももう少し時間が欲しかったです。

出版業界のノウハウや、現状における市場について詳しく知ることが出来たので良かったです。また、出版社の大まかな仕事の内容や、年に1度は多くの会社が出版していることも驚きでした。書籍の電子化が進む中でどのようにして出版会社が大変なのかが少しでも感じ取れたので良かったです。

世の中の変化が凄く関わってくるのがよくわかった。

日本に出版社が3000社もあるということを知ることが出来ました。また1年に1回でも本を出版しているのは3000社のうちの半分の1500社であるということも知ることが出来ました。電子書籍の利用率は2014年に比べて2020年は20%も上昇していて、それは電子コミックである鬼滅の刃の影響が大きいということを知って改めてすごい影響力を持っているんだなと思いました。

母がよくYouTubeで芸能人の中田さんのYouTube大学の動画を観ているのを見ていたので今度論語と算盤を紹介している動画を見る気になった。

本に関する裏話が聞けた貴重な時間になりました。

本を読むのが大好きでスポーツ選手のエッセイ本やミステリー小説を読みます。出版社に勤めている方にお話を伺う機会もそうないだろうと思い参加しました。河内さんの説明とスライドが分かりやすく、出版社についてよくわかりました。本当に面白かったです。またこのような講演会があったら参加したいです！

論語と算盤は表紙が変わってからよく目にするようになって購入したので、どのような流れで表紙を変えることになったのかを知ることができとても面白かったです。